

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [ 担当：澤村 ]  
 TEL：0853-22-6772  
 FAX：0853-24-3342

平成22年度 病害虫発生予察情報 臨時情報第2号

平成22年6月7日

島根県

チャのミカントゲコナジラミが新たに松江市、津和野町でも確認されました。今後発生地域の拡大が懸念されますので、臨時情報を発表します。

現地では早期発見に努め、防除対策の徹底をお願いします。

- 1 病害虫名 : ミカントゲコナジラミ *Aleurocanthus spiniferus* (Quaintance)
- 2 発生作物 : チャ
- 3 発生確認場所 : 邑智郡、出雲市、松江市、津和野町
- 4 臨時情報発表の根拠

1) 平成21年6月邑智郡のチャ園において、本種幼虫と思われる害虫が発生し久留米大学上宮健吉博士に同定依頼したところ、チャに寄生するミカントゲコナジラミと同定されたため8月に特殊報を発表した。その後、県内では出雲市のチャ園で発生を確認したが、その他の地域では確認されなかった。本年にはいり4月に松江市と津和野町で発生を確認した。いずれの圃場も本圃では発生が少ないものの幼木では多発生であった。なお、他県では平成16年に京都府で初めて確認され、その後、滋賀県、奈良県、三重県、福岡県、埼玉県、岐阜県、大分県で確認されている。本種の主な寄生植物はカンキツ類とされているが、チャに寄生するものは別系統とされている。

5 被害の特徴

成虫及び幼虫による葉の吸汁加害と、幼虫・蛹の分泌物により夏季以降にすす病が併発し被害が発生する。また、一番茶摘採期と成虫の発生時期が重なると収穫作業者が吸引するなどして不快害虫としての一面も見られる。

6 防除対策

- 1) 本種の卵および若齢幼虫は微小であり、また葉裏に産卵・寄生するため発見が遅れ、成虫やすす病が発生するまで気が付かないことが多い。そのため定期的に茶園を観察し早期発見に努める。
- 2) 茶園の風通しを良くし卵・幼虫・蛹の寄生葉除去に努める。
- 3) 本種は卵から蛹までの期間は葉裏で固着生活することから整せん枝の時期や深さを工夫することで効果的に寄生葉を除去し次世代密度の抑制を図る。また、除去後の寄生葉は焼却もしくは土中に埋めるなど適切に処分する。
- 4) 放任茶園は本種の発生源になる可能性が高いので適切な管理を行い、発生拡大を抑える。
- 5) 薬剤で防除する場合は若齢幼虫発生期に散布する。
- 6) 発生地から苗を購入する場合は、寄生の有無に注意する。

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数	成分の総使用回数
アプロード水和剤	1000倍	摘採14日前まで	2回	プロフェジン2回
アプロードエースフロアブル	1000倍	摘採14日前まで	1回	フェンピロキシメート1回 プロフェジン2回
ハチハチフロアブル	1000倍	摘採14日前まで	1回	トルフェンピラド1回
ダニゲッターフロアブル	2000倍	摘採7日前まで	1回	スピロメシフェン1回
ダントツ	2000倍	摘採7日前まで	1回	クロチアニジン1回



ミカントゲコナジラミ幼虫



ミカントゲコナジラミによる被害